

42 破天荒

平成三十年度版 創刊 第七号

活動報告

感想文集

今回は、生徒たちの体験特集です。様々な感情の揺れを感じてあげて下さい。経験しての成長です。生徒たちの素直な言葉を、各々の生徒の経験に、生かしてほしいものですね。

英語でのコミュニケーション能力向上に繋がる意義 神戸市外国語大学 野村和宏先生 への謝辞を体験して 9月5日

最初、講演会の謝辞をしてもらいたいと聞いたときは、とても驚きました。それまでは、代表で前に出ることなどしたことがなくて、そのうえ、英語を暗記になると、さらに不安は大きくなりました。私は、英会話教室に通っているの、暗記はすぐにできたけれど、発音やイントネーションを意識すると、文章はずなのに、結構大変でした。 「もう大丈夫」と思って、迎えた当日でしたが、講演で、英語を話していたりすると、暗記できていたはずの言葉が、すぐに頭に浮かんでこなくて、止まって原稿を見ました。原稿は見ずに言おうと思っていたのに、緊張して途中で見てしまったことが悔しくて、そのとき、これ以降も、原稿を見ながら言うのはやめようと思ひ、原稿を確認した後に、自分の言葉でお礼を述べました。自分でも、あそこまで焦ってしまうとは思っていませんでした。今回の経験が、自分の経験が不足していることが、改めて分かったので、良かったです。これから、自分の大好きな英語のレベルをもっと上げられるように頑張りたいです。(女子生徒)

町に八月二十五日、私は被害の最も大きかった、岡山県真備町の被災者です。私が住んでいた家は、津波で全壊し、家族も避難生活を送っていました。この経験から、防災意識を高めることが大切だと感じています。また、被災者への支援活動に参加し、自分のできることをしたいと考えています。 (女子生徒)

相生市災害ボランティアに参加して 岡山県倉敷市長瀬町 8月25日

兵庫県150周年記念&兵庫県伝統文化研修機関2周年記念

”日本文化再発見シンポジウム”

参加者発表原稿 9/2(土) 兵庫県公館第1会議室



私たちが生活している中で、電車やバスなどで、配る「和」の心。これは、日本文化の根幹をなしている。和の心とは、和を以てて尊しとす」といふことだ。和の心とは、和を以てて尊しとす」といふことだ。和の心とは、和を以てて尊しとす」といふことだ。 (女子生徒)

現代人は、食生活が乱れ、栄養不足や過剰摂取による健康被害が増えています。食生活の改善には、バランスの取れた食事を摂ることが大切です。また、食生活の改善には、バランスの取れた食事を摂ることが大切です。 (男子生徒)

おどろき食育フェスティバル 七月二十八日



私は英語が苦手で、FLTとの催し物と言われたとき、少し不安がありました。最初は、来られてくれた子どもも接したら、最初は、来られて、本当嬉しかったです。しかし、たぐさの返りも表情が豊かなくて、一言でも意味が分かつたら、少し返りも表情が豊かなくて、一言でも意味が分かつたら、少し返りも表情が豊かなくて、一言でも意味が分かつたら、少し

「子ども高校生フェスティバル」という、相生市主催のボランティアに私も参加させてくれたんです。たぐさの人と接することだったので、良かったです。(女子生徒)

私は英語が苦手で、FLTとの催し物と言われたとき、少し不安がありました。最初は、来られてくれた子どもも接したら、最初は、来られて、本当嬉しかったです。しかし、たぐさの返りも表情が豊かなくて、一言でも意味が分かつたら、少し返りも表情が豊かなくて、一言でも意味が分かつたら、少し

あゆみ
子ども高校生フェスティバル
八月五日

鮎川川の砂を相生湾へ
7月23日

この活動に参加した動機は、相生に何らかの形で貢献したい思いを実現させたかったからです。友達とすぐに参加を決めました。活動内容は、魚の餌となる植物が育つのに必要な砂を、鮎川から相生湾へ運ぶため、土嚢に砂を詰めるボランティアです。この活動での目標は、相生への貢献と、コミュニケーションを多くの人とすることです。ボランティア初参加なので、とてもしんどいと思っていました。ですが、実際には、多くの土を運んだため疲れましたが、良い汗をかくことができ、多くの人と関わりを持つこともできました。

今回の活動を振り返って、しんどいこともありましたが、楽しみながら活動できたので、ボランティアに参加する機会があれば、積極的に参加していきたいと思えます。(男子生徒)

ボランティアをして先生や役員の人に褒められた時は最高に気分が良かったです。(男子生徒)

鮎川川で土嚢を作るボランティアをした。いま相生湾では、川の砂防ダムの影響で砂浜に砂が溜まらなくなったので、鮎川川で作った土嚢を海まで運び、天然記念物を守る活動を、一昨年からはしているそうです。今日のボランティアで、少しでも相生湾が良くなることを願いたい。(男子生徒)

自分達の活動で 相生湾が良くなればいいと思って今日頑張りました。こまめに休憩を挟んでくれたり、軍手や水分の差し入れなど、本当に有り難かったです。暑い中でしたが、半日ありがとうございました。(男子生徒)

学習活動について

オープンキャンパスなど

京都工芸繊維大学
将来、構造設計に就きたいと考え、特に、京都の建物や土地が好きなので、建築で有名な京都工芸繊維大で学びたいと考えました。キャンパスの雰囲気は、道路を挟んで2つのキャンパスがあり、門を入ってすぐにある、虹の塔がとても印象に残りました。自然豊かで、美術的作品や研究に没頭できそうな雰囲気を感しました。参加した、模擬授業・入試説明会などから、大学の魅力、制度など新たな知識を得ることができました。特に、年間かけてTOEICに取り組むことを聞いて、京都工芸繊維大が英語に強い理由が分かりました。キャンパスツアーでは、先輩と一対一だったので、大学生生活・講義のことなど、さらに詳しく知識を得ることができました。全課程の約80%の人が大学院に行くことや、3×3 を目指しているのも、大学4年からは大学院の講義も取れると聞き、より専門に取り組めることに魅力を感じました。お陰で、今まで以上に、合格を目指して、充実したキャンパスライフを送りたいと強く思いました。構造分野だけでなく、全分野を学ぶことで、自分の将来が開けやすくなると気付いたので、建築全体について学びたいです。入試まであと2年、自分のできること全てをやりきり、2年後に後悔ないように全力で取り組んでいきます。(女子生徒)

同志社大学
日曜日で、申し込み不要のオープンキャンパスを探していたら、同志社大学に辿り着きました。キャンパスの雰囲気は、大学生が笑顔で、明るい雰囲気という感じでした。レトロな造りの建物で、赤茶色が良い見た目だが、設備は新しく学びやすそうでした。模擬授業では、経済学と社会学の紹介をしていただきました。同志社大学の経済学科としてではなく、経済学について学べました。これから、もっと学びを深くして、実力をつけて、私学なら、ここを手に入れたいいと思います。今後の学習の取り組みですが、経済学では、どの分野でも、数学の基礎知識は必要だと理解したので、しっかりと数学を克服していきたいと感じました。(女子生徒)

岡山大学
薬学部と工学部に行きました。最初は薬学部薬学科で薬を作る人になりたいて思っていたけれど、薬学科では薬剤師になる人が多く、研究職は少ないようで、研究職は、博士になる人が多いことを知った。工学部は、化学生命系学科に行きました。工学部は、就職も良く、薬学部の創薬学科よりも、就職しやすいかもと言われた。さらに、化学生命系学科に入ると、2年生の時に、3つのコースに分かれるらしく、大学に入ってから考える所も良いなと思った。工学部でも、医療系のものできるらしいので、工学部も良いなと思った。まだ、薬学部と工学部どちらかを決められないので、まず情報を得たいと思う。そして、大学の先輩たちの話を聞いて、勉強しないといけなと実感出来たので、勉強したい。そして、2、3年生で、どちらも行けると言われるような学力をつけたいと思った。そして、工学部に行った時、ごく一部しか見れなかったの、来年は2日あったら、2日行って、いろんな学科を見学したいと思った。(女子生徒)

たつの 赤とんぼの子育て隊祭り

子供ボランティアに行きました。後半は3日間ありましたが、1日警報でなくなり、2日間行きました。2日間のうち1日は、お誕生日会でした。その練習を1日目にやりました。始めに、ひよっこりはんをして出てきて、こぶたぬきつねことアイアイを歌いました。アイアイの2番の歌詞を知らなくて、その日に覚えたので、歌えるか少し不安でした。とても緊張しました。ひよっこりはんはあまり気づいてもらえなくて3回ほどやりました。こぶたぬきつねこは、1回目は少し声が小さくなってしまったんですが、2回目は子どもたちもいつしよに歌ってくれてとても嬉しかったです。その後も、子どもたちと遊びました。「何してるの?」と話しかけていくうちに、子どもの方からあのねーと言われたときはとても嬉しかったです。トライやるウィークで幼稚園に行かなかったことを後悔していたので、子供ボランティアに参加して本当に良かったと思います。これからも子ども関係のボランティアがあれば少しずつ参加していきたいです。(女子生徒)

8月2、7日と、たつの市の「赤とんぼの子育て隊祭り」に、ボランティアへ行きました。初日は7日の祭りのための準備をしました。小さな子供が喜ぶように可愛く作った看板や、うさぎや花などを象った的がありました。何年も前から直して使っていたらしく、ポロポロになってる所はテープやのりで貼る作業もしました。祭り当日は小さな子供がお母さんと一緒に遊びに来てくれ、大盛況でした。私はボール投げの係だったので一生懸命に向かってボールを投げる仕事草がとても可愛かったのが印象的です。また、笑顔で話しかけたり手を振ったりすると、一緒に笑顔になったり手を振り返してきてくれたことはとても嬉しかったです。今回のボランティアに参加してみても改めて子供の可愛さを感じました。そして自分が笑顔でいることの大切さや、ありがとうと言われる喜びも改めて感じました。次のボランティアも率先して頑張っていきたいです。(女子生徒)

一日看護体験 八月四日

今回研修大会に参加して、看護のリアルな現場を体験することができました。看護を真剣に考え、これから生きて行く中での教訓を学ばせていただきました。看護師や医師は、「病気を治す」というイメージが強いのですが、患者さんに寄り添ったり、コミュニケーションも病状の方を見て回らせていた大変大切な役割だと思いました。先生もおられて、とても強い方だと思いましたが、笑顔で問われている先生は、自分自身も驚きました。私には、若いうちの先生は、その理由から、自分自身でできない仕事の移動が走つて、時間を有効に使う方だと感じました。とおっしゃられたときに、すごく立派で、強い方だと感じました。皆さんは、すごく忙しいですが、その分、活き活きとした顔で、仕事に取り組みされている方が多く、自分も、こんな風に、やり甲斐を感じながら働きたいと思いました。私が一番感動したのは、看護師と医師のチームの一つです。医師が全力を發揮できるように、看護師は、先読みして準備したり、患者さんのアを完璧にこなす看護師の皆さんは、すごく格好良く、頼りになる方ばかりだと思えました。相手を思いやる、そういう当たり前のことが当たり前にされているのが、病院という場所だと感じました。これが、この進路を考えているのが、大変貴重な経験をさせていただき、ありがとうございます。もう一度考え直したいと思えます。(女子生徒)



自然科学コース

青少年のための科学の祭典を終えて

僕は、8月25、26日に兵庫県立大学姫路工学キャンパス5号館で行われた青少年のための科学の祭典姫路会場大会2018に参加しました。

1. 光の3原色 2. 摩擦で火をおこそう という二つのブースを開き、僕は、摩擦で火をおこそうに参加しました。ブースに遊びに来た子供達は、とても喜んでくれたので嬉しかったです。ただ、僕は質問をされたときに上手い返しができなかったもので、次回このような機会があるときには、適切な情報収集と、準備をしようと思いました。このようなイベントに参加することができて本当によかったと思います。(男子生徒)

昆虫大捜査線in但馬牧場公園

昆虫大捜査線in但馬牧場公園 ひとくはく連携グループテネラルとしての活動 新温泉町にある但馬牧場公園でのイベント。前日入りして昆虫相の調査。牧場なので牛の糞から糞虫などを採集した。夜はライトトラップをしたが、大したものはいらなかった。早めに切り上げて寝る。当日、イベントは事前申し込み不要で時間も決まっていなかったのでバラバラと参加者がくる。それぞれ自分の思うように虫採りをしたりして袋に入れていく。いろんな虫がとれていた。なかなか大変だったがやりがいがあった。(男子生徒)

